

平成29年11月24日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 様

議会報告会 1班
班長 加藤 啓子
藤井 俊行
坂巻 儀一
乾 紳一郎
中川 弘
斉藤 真理
近藤 美保

私の班は議会報告会を開催し、その概要は下記のとおりでしたので、ご報告
します。

記

- 1 日時 平成29年11月12日（日）
- 2 場所 南流山センター 会議室
- 3 欠席議員 なし
- 4 来場者数 市民来場者 14人
議員・職員 3人
- 5 報告内容 ①南部地域の諸課題について
・治安の状況と今後の課題
※昨今の安心安全メールの内容が不安という市民の声から
・支え合いの地域づくりにむけて
・子育て環境について
②決算審査における指摘要望事項について

6 意見交換内容

①南部地域の諸課題について

市民（木）男性

地元自治会は、共働き世帯が多く日中は手伝える人がいない為、自治会としてどのように防犯ボランティアを結成していくかを考えている。

情報公開は個人情報の扱いに注意している為に役員だけにしている。よって連絡が取りづらい。

松戸市と隣接している箇所に防犯カメラの設置を要望したい。

議員

青少年補導員の一般補導員パトロールは夜間パトロールである。自治会の防犯パトロールとは違うのですが、地域の情報なども入ってきますので、一般補導員への加入も検討いただきたい。

議員

うちの自治会ではワンワンボランティアというものがあって、犬の散歩の際に地域の見守りをしている。

議員

保護者同士が顔見知りになる事も重要でイベント等にも参加して欲しい。また、ジョギング中の見守り活動をしている人もいる。

市民（木）男性

集合住宅以外は自治会加入率は90%を超えていて餅つき大会などのイベントも開催し、ワンワンパトロールも南流山小学校から案内がきているので回覧板を廻している。補導員加入も検討してみる。

②決算審査における指摘要望事項について

市民（鱈ヶ崎）男性

年間40回位は様々な市内の会議に出ている。流山白書によると、人件費と物件費があり、パートさん達の給与は物件費となっているので人件費など正確な数字がわからない。

議員（司会）

皆さんが人件費と物件費の違いがわかったと思います。ご意見ありがとうございました。

③その他の意見交換

市民（南流山）女性

一年前に学童の環境について議会報告会で意見させてもらった。学童に入っていない子供達向けの夏休みの過ごす場所を設けてくれてありがたいが、児童センターの昼食の件の案内がなかった。

子ども食堂は皆が集まれる事に価値があると思う。流山市も自治会館などを利用して地域との繋がりをもてたら良いのではないか。未就学児や高齢者などと保護の必要がなくなった子供達とが一緒に過ごして相互の支え合いができるようにするなど検討願いたい。

市民（鰯ヶ崎）女性

その子ども食堂はどこでやっているのか。

市民（南流山）女性

思井児童館です。

議員（司会）

自治会役員経験者の方の意見を聞きたい。

市民（木）男性

地元自治会館の建設予定があり、子どもの居場所についてなんとか解放できないかと検討しているが、鍵の管理を懸念している。防犯の為に電子キーなどへの市からの補助金とかを考えて欲しい。

議員

うちの地域も自治会館はあるが、ほとんど鍵が掛かってしまっている。しかし、高齢者ふれあいの家というのがあって、学童に行っていない子ども達が集まってお祭りの時など子ども達が手伝っているので、そんな事から開拓してはどうか。

市民（南流山）男性

以前は自治会連合会の会長をやっていた。鍵の問題もあるが、全てに解放すると誰が清掃等の管理をするのかも問題になるので市からの援助が必要と考える。また、自治会館建て替えの為に積み立てもやっている。是非とも市の助言なども欲しい。

議員

私的な考えだが、学童に行けない子ども達の居場所の為に執行部に学校開放を提案していきたい。

市民（南流山）男性

チラシを見たが、市長が議会を無視して議案を決定したらしいが、そんな事があるのか。何の為に議会があるのか議会と執行部の問題について訊きたい。

市有地の適正な管理がなされているのか。不作為の損失が生じているがどのように考えているのか。

特定疾病者に対する見舞金の減額についての積算に納得がいかない。申請手続きもとても面倒。

議員

流山市においては総額1億8千万円を超える事業については必ず議会の承認が必要という条例がある。工事着手の際は市と業者が見積もり合わせのうえ、仮契約を結び、議会承認を経た後に本契約を結んで工事に着手する。今回はそこに追加工事が発生したが、議会の承認を得ないままに追加工事に着手してしまった。グラウンドを早く整備してあげたい為に時間の都合上やむを得なかったという事情があるにせよ、再発防止の為に検証が必要と考える。変更点は雨水を一時的に貯める貯水池の設計変更だった。場所は下花輪。

議員

特定疾患の対象者が年々増えていて行政も広く様々な人に補助している。収入に応じて医療費補助もしているのでご理解戴きたい。

市民（鰯ヶ崎）男性

異議あり。最初から弱い者から切ってはいけない。

市民（南流山）男性

私が言いたいのは手続きの問題について。

議員

手続きについては担当課の方に訊いてみる。

市民（南流山）男性

私は精神障がい者なのですが、流鉄に半額で乗れるのは私達にとって大きいですが、携帯電話の購入や通話料金の経済的負担が大きい。市は何かしらの経済的対策への方策を考えて欲しい。

議員

障がいのある方の賃金が凄く安いと感じている。賃金の改正をして収入増になれば良いと考えるが、規定もあるので流山市が独自に施策をしていかなければいけないと思うので、教育福祉の方とも話をしていきたい。

議員

先程の特定疾病の方も精神疾患の方の話も伺ったが、平成28年度の決算でも障がい者の方の福祉手当も難病の見舞金も減額され約5千人に影響が出ている。そこから削っていくのは間違いだと私は考えている。皆さんが安心して暮らせるような施策をきちんとやっていく事が大事である。

議員

障がいを持っている方の働く場という事で紹介したいのが、北海道の岩見沢という町の施設は精密部品を作っていてやりがいのある仕事を提供している。行政の仕組みの充実もそうですが施設の在り方の考え方を拡げて皆さんの手取りも増やし、よりやりがいのある仕事を提供できるよう行政も考えるべき。我々ももっと研究していきたい。

市民 女性

今回二回目の参加です。民間の学童を開設している。以前公設の学童で25年以上働いていた。南流山、おおたかの森小学校学童の問題は大変な事だと思っている。子ども達の土台作りをするという大変な時期なので流山市にはそういう点を考えて子ども達の場所づくりをして欲しい。

公的な機関に配られた学童クラブについての案内に不備があったがどういう事なのか。公設民営と民設民営の案内に一学童クラブの開設の紹介があり、自分達の施設は無視されている感がある。

江戸川学童クラブが出来たプロセスが不透明なので知りたい。

議員

担当課には聞いていませんか。

市民 女性

何も聞いてない。

議員

先日の教育福祉の議会報告会にも取り上げられていたが、まだ私達も詳細については把握出来ていない。

市としては民設学童を作りたいと思っていたと考えるが、その選定プロセスは公開されていない為、不透明であるのでチェックをしていきたい。

議員

私も以前は学童の運営に関わっていたので学童に関しては肌で感じている。ご指摘いただいたような紹介の仕方には問題があると思うので調査したい。どうしても小学校と対になっている学童には限界があると思う。それを補う為にも学童にも多様性があって良いと思うので、募集の在り方については調査をして、行政の責任のもと紹介を出来るように研究したい。

議員

議会の最終日に市長の報告で私達も知った。その後に担当者に指摘をしたがきちんとした回答がなかったので次回の議会でも取り上げていきたい。

議員

担当者にはきちんと伝える。

市民（鯖ヶ崎）女性

東洋学園大学が撤退の方向にあり生徒が減っている。流山エルスが手狭になったので使えないかと副市長(※後に教育長と訂正)から打診があったと聞くがその事は知っているか。

宮園3丁目付近の坂道を自転車で通行していると車が凄い勢いで走り抜ける。子ども達も多いので何か対策は出来ないのか。

議員

私は地元なのでよく知っている。あの周辺はこの後に道路が整備されていくので安全対策を確認していきたい。

議員

東洋学園大学のその後に関してはいくつかの案が出ていたのは知っているが、副市長（※後に教育長と訂正）が使用に関して交渉したのは知らなかった。確かに生涯学習センターは元は県の青少年の家だったので文化施設としてはあまり良くない事もあるので、一部を利用できないか協議の必要があると考える。

市民 男性

民生委員をやっている。SNSなどが関係する犯罪に対して行政として規制や対応等はしているのか。

議員

現在はそのような規制や対応はないと思うが、ある議員の質問に対する教育長の答弁では、規制とかではなく子ども達と親が話し合っただけで考えていく事に留まっている。家庭教育講座で自主的に啓発行動が行われている。

ラインは1グループで256人が登録でき一斉にやり取りができる。そこで問題が発生する事があると思われるのでその辺を周知させることが大事と個人的に思う。

議員

SNSに関する子どもへの教育は必要であるが、そのスキルは難しいと思われるので、専門の民間の方達と連携を持った仕組み作りは必要と考える。

市民 男性

市長は小学生にも携帯を持たせるかどうかとの議論もあった。

議員

子ども達の携帯使用にはフィルタリング機能があるが、使用されていない方が多い。子どもに携帯を持たせるかどうか等の問題も含め親御さんに意識を持たせる事が難しいと思う。

市民（鯖ヶ崎）女性

訂正させて欲しい。先程の件で副市長と言ったのは教育長の間違いであった。

市民（鯖ヶ崎）女性

子どもに携帯を持たせるかどうかは、使い方をきちんと教える事が大切と思

っている。

市民（木）男性

松戸市との市境の道路建設について松戸市、流山市、市民との情報共有が明確にされていないので市も議会もきちんと対応して欲しい。

議員

松戸市、流山市の住民が一堂に会して前向きな話し合いが必要と思う。

市民（木）男性

区画整理を早く終わらせて欲しい。

市民 女性

子ども達の居場所について思うのは場所やシステムが足りてないのは確かだが、一番足りていないのはプレイヤー（管理者的な人材）ではないか。流山市は児童の育成に詳しい人が多いので魅力的に繋いでいったら良いと思う。

7 所感

加藤議員

南部地域の課題がテーマであったので、地域の活発な意見がなされた。机をコの字型に用意しておいたのも、お互いの顔をみながらの意見交換となり、よかったのではないかな。

木地区の問題は都市建設委員会とつくばエクスプレス沿線整備と新川耕地・周辺問題特別委員会にかかわることでもあるので、所管の委員会につなげ、後日の説明会への出席を促した。

障がいのある方のお給金についても改善が必要であり、市の政策のどこに予算が厚くついていくのかについては議会でも注目していくところである。少人数でゆっくり意見交換ができて有意義であった。

藤井議員

1班議会報告会は、18名の参加であったが、多くの市民も発言の機会があり、良かったと思います。多種多様なご意見の交換ができた。アンケートにも記載されているように参加常習の方が長時間にわたり質問をして、他の市民からは評判が悪かった。本来は、議員や議会に意見を言えない。また、意見交換の機会がない。そのような方たちの声を聴くのが、本来の議会報告会だと思う。今後は何らかの対策の検討が必要だと思う。市民から頂戴したご意見に対して、

班内で議論や問題共有が必要だと感じた。

坂巻議員

少人数の参加ではあったが、闊達な意見交換が出来たと思う。意見を戴く参加者に多少の偏りはあった事は否めないが、時間いっぱいまで議員側と参加者側との交互のやり取りがなされ有意義な時間が持てた感がある。

障がいを持った方達も数名参加されて、切実な思いと貴重なご意見も戴き、それらの声もきちんと行政に伝えていかなければいけないと痛感しました。また、今回が初めての参加ではない方が多く、市民の方々にとっては大切な意見交換の場となっている事と思われました。

乾議員

今回の議会報告会では、南部地域の自治会の役員の方、子育て世代の方、メンタルで療養しながら働いている方など多彩な市民の参加がありました。新興住宅地である木地区の自治会には住民の9割をこす参加があり、役員体制も大きく若返ったと聞いて、新しい街にコミュニティの輪が広がっていることを心強く思いました。わたしの決算審査の報告に、決算内容をお知らせする資料がほしかったとの宿連合自治会の役員さんの要望はもったもなもので、口頭だけでなく、資料としても用意した方がよかったと思います。「広報ながれやま」では11月21日号に決算についての特集が掲載されていますので、ぜひ、参考にさせていただければと思います。

市民の方のご意見では、子どもの居場所をどう確保するのか、自治会館の利用もなどといったご意見、来年度から市が開始する小山小学区における民設民営学童クラブの委託に関しての既存の民間学童の方からのご意見、難病見舞金の減額、申請手続きの問題、メンタルの方の「生活が苦しくて携帯を変えることもできない」などのご意見に注目しました。

引き続き、「開かれた市議会」の場として、議会報告会の充実に力をつくしていきます。

中川議員

参加頂いた市民お皆さんもから広く意見を伺うことができた。また、発言内容も前向きなのが多く聞かれたし発言時間も他の参加者の配慮も頂いた面は良かったと感じた。

大きなテーマは学童や放課後の子供の居場所問題や突然降って湧いたけやき通りの延伸問題であった。市民からの問い掛けに答える議員側に尻込みする様な場面があり、経験が少ないなりに市民と向き合う姿勢が不足していると感じた。

周辺自治体では小学校 6 年生まで受け入れ、放課後の居場所作りが進む中、子供の急増による学校建設で手が回らない。長年議会で指摘されて来たにも関わらず放置され続けたけやき通りの延伸が松戸市からの要望があるとして既に住宅が張り付いた生活道路を通過交通路に強引に変更しようとするなど流山市の不作为による失態と言える。加えて市民への説明も遅すぎるし不十分である。会場となった南流山センターでは議会報告会がある事が全く分からず(かろうじて部屋の予約票に記載があるのみ)、過日拝見した那覇市では市役所に大きな垂れ幕により議会報告会の開催案内が掲出されて居たものと比較しても情けなく少なくとも数日前から立て看板を出すなどの必要性を感じた。

齊藤議員

今回、参加者数 16 名というのは、議会報告会としては、丁度良い人数だったと思う。また、参加者の方も、年齢層や男女の比率のバランスが良く、多くの方が発言して下さった。

議会報告会は、市民の皆様の声を直接聞かせて頂く大切な機会なので、これからも、内容の充実に努めていきたい。

近藤議員

市民の参加者は 20 人と振るわなかったが、自治会の課題、子どもたちの居場所作りの課題、行政の市民に対する情報共有の荒さ、障がい者の課題、市境道路の課題、民間学童の課題、ネット犯罪の課題など、世代や地域、立場を超えて様々なご意見を頂くことが出来た。

1 人のご質問に対し複数の議員が答えるなど、様々な知恵や方策が見えてくる良い会だったように思う。参加者の質問に対して参加者が答えるという場面もあった。住民同士の交流機会を設けられるのは、住民とつながっている議員が主催するからこそ提供できる価値という発見もあった。

議員は様々な主義主張や持っているが、議会報告会は支援者以外からの意見や課題を知る機会だと私自身が痛感した。議員 7 人が市民の生の声を共有することで、超党会派で課題意識を深めることも出来、有意義だ。今後もチーム議会としての活動にしっかり関わっていきたい。